

2021年2月15日

各位

会社名 株式会社ジョイフル  
代表者 代表取締役社長 穴見 くるみ  
(コード番号 9942)  
問合せ先 取締役管理本部長 野島 豊  
(TEL 097-551-7131)

## 特別利益の計上及び2021年6月期第2四半期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年6月期第2四半期におきまして、下記のとおり特別利益の計上とともに、2020年9月25日に公表いたしました2021年6月期第2四半期連結累計期間(2020年7月1日から2020年12月31日)の連結業績予想と本日公表の同実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別利益の計上

2020年6月期に計上いたしました店舗閉鎖損失引当金繰入額と実績値との差額を、店舗閉鎖損失引当金戻入額として1,071百万円計上いたしました。また、当社及び連結子会社で保有していた固定資産の譲渡及び連結上の会計処理に伴い、固定資産売却益を374百万円計上いたしました。

#### 2. 2021年6月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績の差異(2020年7月1日~2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 27,622	百万円 △1,410	百万円 △1,348	百万円 △1,248	円 銭 △42.39
実績値(B)	27,166	△527	△388	976	32.63
増減額(B-A)	△455	882	959	2,224	
増減率(%)	△1.7	—	—	—	

#### 3. 2021年6月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績の差異の理由

売上高につきましては、主に、コロナ禍で第3波の影響が顕著になった11月以降の客数が予想を下回ったこと、及び収益改善が見込めない店舗の退店を柱とする経営合理策を迅速に進めたこと等により、前回発表より455百万円少ない27,166百万円となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高が予想を下回ったものの、前述の退店による利益改善効果に加え、地域子会社の統廃合、地域子会社内の営業管轄区割りの統廃合、本社組織のスリム化など、管理面の効率化も進めた結果、営業利益は前回発表より882百万円改善し527百万円の損失、経常利益は前回発表より959百万円改善し388百万円の損失となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記「1.特別利益の計上」に記載の内容等により、前回発表より2,224百万円改善し976百万円となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、2020年9月25日に公表の業績予想から変更はございません。

以上